

暑中コンクリート対策 !!

生コンクリート品質の更なる向上を目指し日々研鑽している当社は
最も厳しい条件下である暑中コンクリートの品質を積極的に確保する為
都内で唯一ドラムクーリングカバーを
採用しました



ドラムクーリングカバー全車装着

暑中コンクリートの弱点だった輸送時における
生コンクリート温度上昇(スランプロスなど)を制御できる初めての装着品。
カバーに水をかけ(含水)気化熱によって冷却する事に
より輸送時だけでなく、荷卸後の帰着までのドラムの
温度上昇までも防げる事になります。

**当社では、
安定したスランプの確保(品質管理)に努めております**

生コンクリート冷却システム ドラムクーリングカバー

暑中コンクリートの問題点と対策

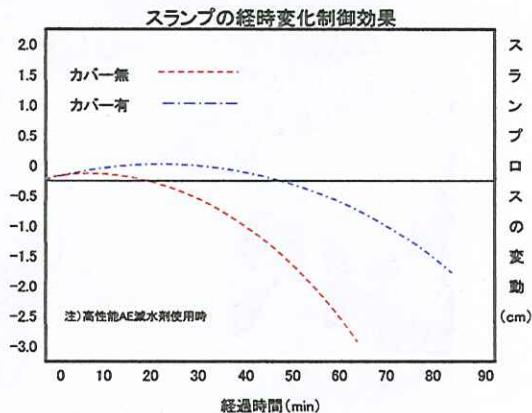
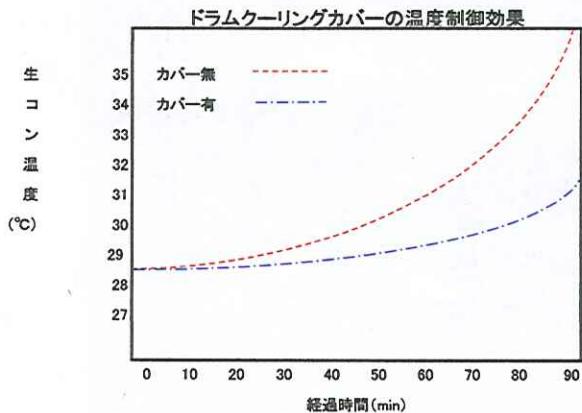
★問題点

- ☆コンクリート温度が高くなるに従ってセメントの水和反応が促進され、コンクリートの凝結時間が早くなる。
- ☆コンクリート運搬中のスランプロスが大きくなる。
- ☆コンクリートにこわばりが生じてワークアビリティーが低下し、コールドジョイントが発生しやすくなる。
- ☆同ースランプを得るための単位水量が増加すると共に、スランプロスを考慮した水量が増加する
- ☆初期強度の発現は速やかであるが、長期強度が小さい傾向にある。

★対策

- ☆骨材を直射日光から遮断する。
- ☆骨材に冷水を散水する。

☆ドラムクーリングカバーを装着させる。



東京都東久留米市中央町4-14-36

都屋建材株式会社